

第1回西大路地区バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議

会 議 摘 録

日時：平成28年9月29日（木）

午前10時30分から午後4時

場所：ワコール本社（2階）

1. 開会：京都市都市計画局歩くまち京都推進室長 高畑重勝から挨拶

2. 議事

(1) 連絡会議設立の趣旨及び今後の予定等について

(2) 西大路地区の現状について

《資料》資料1 連絡会議設立の趣旨及び今後の予定等について

資料2 西大路地区の現状

《参考資料》バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議開催要綱
バリアフリー法の概要について

(3) 西大路地区のバリアフリー化事業の考え方について

《資料》資料3 西大路地区のバリアフリー化事業の考え方

《委員からの御意見（○）及び事務局等からの回答（▲）》

○ 新駅舎は現在の駅舎から見てどの位置に整備されるのか。

▲ 現在の駅舎は線路南側で西大路通西側にあるが、新駅舎は、線路北側で西大路通東側となる。

○ 新駅舎のエレベーターから西大路通の歩道までの距離はどの程度か。

▲ 正確な数値は持ち合わせていないが、概ね30m程度だと思われる。

○ 新駅舎にはエレベーターは整備されるがエスカレーターは整備されない。以前から駅周辺の企業から身体障がい者を雇用したいとの要望があり、それにはバリアフリー化が必要であるとの話も出ていたはずであるが、これではバリアフリー化とは言えないのではないか。

現在の計画では新駅舎からホームまで移動するのにエレベーターに複数回乗らなければならず、またかなり遠回りとなる。ホーム北側の線路や京都方面ホームの位置を動かせば、移動距離を短くできるのではないか。

▲ 線路やホームを移設することは困難である。また、階段に併設してエスカレーターを設置すると、階段幅を確保できない。

▲ 次回の会議では、できること、できないことなどをもう少し詳しく説明していただきたい。

(4) 現地調査及び意見交換

《資料》資料4 現地調査 実施要領

資料5 現地調査 調査ルート及び調査シート記載要領

資料6 現地調査 調査シート

(5) その他

《参考資料》これまでの基本構想における基本理念

3. 閉会

以上